

季刊

第31号
2019年1月

えこびと



- P & P 特選句 10月 間引き菜の青青とあり汁の中 (康江)
11月 秋日和グランド佛かすエースかな (まるこ)
12月 断崖の岩肌削る冬の波 (康江)

* P & Pは俳句や川柳づくりを楽しむ eco-T の利用団体です。

特集 新年の挨拶 / NPO 法人 10周年記念事業について

- 活動報告 環境学習施設で考えるSDGs /共働事業ワークショップ
フォトレポート エコットフェスタ
NPO 活動団体紹介 豊田地域猫の会
事務局からのおしらせ

この季刊誌は持続可能で豊かな地域社会（エコライフとよた）の実現を目指す
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトが発行しています。

特 集

新年の挨拶 / NPO 法人 10 周年記念事業について

初春や 築けエコ人 新時代

昨年 6 月、NPO 法人とよたエコ人プロジェクトの 2018 年度がスタートし、早や 7か月が過ぎました。この間、NPO 会員、インタープリター、エコ人職員そして豊田市環境政策課の職員の皆様のお蔭をもちまして、大きな成果を挙げることが出来ました。心より厚く御礼申し上げます。

ここで、エコ人の前半の活動状況をご報告しますとともに、エコ人 10 年の精神を引き継ぎ、発展させるための「設立 10 周年企画」をご案内します。

＜活動報告＞

■ 「リサイクルステーション用の分別ガイドブック」作成（8月～1月）

豊田市共働事業提案制度の業務委託を受け、分別ガイドブックを作成。
守随理事をファシリテーターに 6 回のワークショップを開催。



■ 「愛フェス 2018」出展（10月 20、21 日 愛・地球博記念公園）

市民と NPO を結ぶ社会貢献イベントにエコ人の理事・監事および会員、インターパリターの協力のもと、ごみの分別等を展示、PR。



■ 環境学習施設研究部会「視察研修会 2018」参加（11月 15、16 日）

「SDGs 未来都市 豊田市の環境学習施設で考える SDGs」をテーマに開催。本田、横井両理事が参加。長内事務局長より基調講演。
エコット及び渡刈クリーンセンターの視察では本田理事が対応。
(エコ人は、当研究部会の幹事です)



■ エコ人の「のぼり旗」を新規制作・PR（12月 2 日エコットフェスタ）

 特定非営利活動法人
とよたエコ人プロジェクト 「エコライフ人と暮らしと街変える」を記載



【 NPO 法人 10 周年記念事業 】

NPO 法人とよたエコ人プロジェクトは、本年 3 月で設立 10 周年を迎えます。

皆様には、後日、詳細をご案内いたします。ぜひ、ご参加いただきますようよろしくお願いします。

実 施 日	2019 年 3 月 18 日（月） 8:40～15:30	
場所・内容	・トヨタ自動車・堤工場 組み立て及び「びおとーふ堤」（2018.10.4 開設）の見学 ・10 周年謝恩パーティー（フォレスタヒルズ）	
対 象	エコ人会員、インターパリター、エコ人職員、他	
参 加 費	1,000 円（10 周年記念事業の積立金から一人約 5 千円分を補助します）	
スケジュール	8:40	フォレスタヒルズ集合（貸切バスにて移動）
	9:30～11:15	堤工場 「組立て工場」 & 「びおとーふ堤」の見学
	12:00～15:30	謝恩パーティー

（代表理事 横井純夫）

活動報告

★テーマ「SDGs 未来都市 豊田市の環境学習施設で考える SDGs」に参加して

11月15日（木）と16日（金）に、豊田市で全国の環境学習施設及び環境に関わる企業、自治体の代表が集まり、廃棄物資源循環学会の環境学習施設研究部会主催「視察研修会2018」が開催されました。

1日目は約30名の参加があり、エコフルタウン見学の後、名鉄トヨタホテルにて、基調講演、環境学習施設の取り組みや課題などについて報告・意見交換を行いました。また、懇親会では和やかな雰囲気の中、施設の抱える課題や悩みを話し合い情報共有し、環境設備のメーカーの方から貴重な話を聞けて有意義な懇親会となりました。

2日目は場所をエコットに移して、小学4年生向けレクチャーを紹介し意見交換後、渡刈クリーンセンターを見学しました。参加者から最新の設備と管理の徹底について驚きの声が多く寄せられました。またインタープリターの活動についても高い評価を頂きました。



今回初めて全国の環境に関わるみなさんとお会いでき、交流ができたこと、エコ人プロジェクトの活動を多くの仲間にPRできたことは大変意義がありました。

エコット見学後は、トヨタ自動車のトヨタ会館と豊田市自然観察の森を見学され、帰途に着きました。今後もこのような機会があれば、理事や職員にも是非参加し見識を広めてもらえればと感じました。

（理事 本田昭二）

★共働事業 / 「リサイクルステーション用の分別ガイドブック」作成 第2弾

この事業は、昨年度「豊田市共働事業提案制度」の行政テーマ設定型の事業として、「リサイクルステーション用の小冊子を作る事業」を提案したところ採択されたため、今年度実施しているものです。

■日時 第4回ワークショップ 11月23日（金・祝）午前10時～12時 6名

第5回ワークショップ 12月15日（土） 午前10時～12時 7名

第6回ワークショップ 1月17日（木） 午後 2時～4時 3名

第4回では、第3回で出た分別ごとの間違やすい、わからない、必ず掲載したいという項目を整理し、12ページの内容を検討しました。第5回では初校のデザインをもとに、より分かりやすいデザインにするための具体的な改善案をたくさん出し合いました。そして最後の第6回では、第5回と同様、改善案を検討しました。例えば、「飲料缶にたばこの吸い殻やごみを入れないように注意書きを入れる」など意見が出ました。



今後は、ごみ減量推進課と校正し、2月末までにデザインを完成

させます。そして3月中旬に、市内の全リサイクルステーションなどで配付する予定です。

完成したら、ぜひ分別ガイドブックをご活用くださいね！

（事務局長 長内隆久）

フォトレポート

エコットフェスタ

12月2日（日）にエコットフェスタを開催しました。ご来場いただいた皆様本当にありがとうございました。参加者は494名。今年は、第4回ソーラークッカー全国大会と共同で開催し、県外からの参加者も多く見られました。



食品ロス削減啓発ポスターの受賞作品をラッピングしたパッカー車



エコドライブシミュレーター体験



ソーラークッカーの展示



燃料電池バス「ミラノス」の展示



ソーラーパネルを使ったおもちゃ
「ソーラーバッタ」



手回し発電機で一生懸命に電球の
あかりをつけていました



CO₂削減対策から生まれた藻を活用した商品“moina”を使ったハンドマッサージ体験



おにぎりづくりについて、参加者の感想や
学んだことをまとめ、掲示

（事務局長 長内隆久）

今回は動物愛護と環境改善を目指す豊田地域猫の会です。皆さん「地域猫の会」を知っていますか。「地域猫活動」は動物愛護と環境改善の2本柱で成立しています。人道的な手段として野良猫問題を解決する活動です。一見環境とは関係のないように思われますが「命にやさしい」「生活環境が良くなる」「人がつながるまちづくり」などを目指すところは同じです。



とくどめちひろ
代表 德留千博さん

●地域猫の活動とは具体的にどんな活動ですか？



全国的な活動で動物愛護と生活環境の改善が目的です。具体的には野良猫を捕獲して、増えない様に豊田市動物愛護センターで不妊手術を行い、地域猫として住民が飼養管理しながら不幸な野良猫を減らして行く活動です。当会は野良猫問題を地域の問題として住民自身で解決できるように捕獲器の貸出し・餌やり・トイレの管理などのノウハウを支援します。

●現在の活動は？

豊田市では2010年の2月22日の「猫の日」に設立しました。環境省より「飼い主のいない猫（野良猫）対策」のガイドラインが発表された日です。来年で10周年を迎えます。

現在会員は28名で地域猫活動の普及と定着支援をしています。豊田市内301自治区の中で148ヶ所の住民が活動に参加しています。活動を始めると猫嫌いが好きになる。反対する人が必ずいるが活動を始めるとトラブルはなくなります。「糞尿被害が減る」「不妊によりさかりがない」「交通事故が減る」など目に見えて効果が出てきます。地域猫は耳の先がVカットされています。



●地域猫の活動を始めたきっかけは？

元々は犬派でしたが13年前の台風の時に目も見えない子猫を発見。我が家で飼うことになりました。そうすると我が家の飼い猫（クーちゃん）と野良猫の差が気になりました。最初に知ったのは名古屋の保護活動団体でした。しかし保護活動はやってもやっても際限なく疲弊してしまう。そんな時、関東で活動している地域猫活動に巡り会えたのです。当初保健所では相手にされませんでした。そこで「市民の誓い」にある『命を尊び』から地域支援課に相談。市民の誓い推進協議会に参加。戦略として共感・共有・理解者（賛助）を増やしていくことを意識してきました。

●将来へのビジョンはありますか？

豊田市全域に活動を広げることです。動物愛護団体がなくても行政と自治区で仕組みを定着していくば確実に地域が良くなります。私達のミッションは「地域猫活動はみんなをハッピーにする」です。

●市民へのメッセージは？

地域猫は地域力で猫にとどまらず、小さな命や思いやりの心を育てる象徴的な活動だと思っています。地域猫活動は、命を大切にすること、隣同士で猫に餌をやり（慈悲の心）みんなが仲良くなります。人間関係が良くなり人が繋がり、ひいてはコミュニティが良くなります。「猫はかすがい」です。

(インタビュー 守随純子)

事務局からのお知らせ

新しいスタッフの紹介



とよたエコ人プロジェクトの会員になりませんか？

来年度からは、正会員の特典を大幅に拡大します。現在の e-cafe のコーヒーチケット 3 枚 プレゼントに加え、「ふるさと納税」に習い、会費の 3 割程度の地産地消の品物をプレゼントすることを検討中です。これを機会に

『楽しい&エコ』なくらし、

いっしょに始めませんか♪

【会費】

正会員	10,000 円（議決権あり）
賛助会員	一般 1,000 円/口
	非営利団体 3,000 円/口
	営利団体 10,000 円/口

※当法人の事業年度は 6 月～5 月です。

編集後記

明けましておめでとうございます。

新年を迎え、寒い日が続いていますね。

「冬来たりなば春遠からじ」と昔の人は言いました。この寒い時期の先には、また春がめぐってきます。インフルエンザが猛威をふるってきました。しっかり手洗いを励行し、また緑茶を飲むことでインフルエンザの予防につながるので心がけたいですね。今年もとよたエコ人プロジェクトをよろしくお願ひします。

（荒木季子）

発行・編集 NPO 法人 とよたエコ人プロジェクト

〒471-0034 豊田市小坂本町6丁目5番地2 シティハウス NAGASAKI 43 107号

メール：info@t-ecobito.jp

当法人ホームページ：<http://t-ecobito.jp/>

eco-T ホームページ：<http://www.eco-toyota.com/>

eco-T Facebook ページ：<https://www.facebook.com/ecotoyota/>



当法人
ホームページ



eco-T
ホームページ



eco-T
Facebook ページ